

みらいのまなび共創会議

ICT CONNECT 21

Collaborative Open Network for New Educational Concepts with Technologies

遠隔授業SIG 活動報告

2018/6/22

遠隔授業SIGリーダー

株式会社ブイキューブ 天野光善

遠隔授業SIG立ち上げの背景

- 「人口減少社会におけるICTの活用による教育の質の維持向上に係る実証事業」への参画による課題解決
→ **システム検討は1社では困難**
- 現場には、現場の知恵がある
→ **横展開したい**
- 現場の深刻さを知った
→ **遠隔授業の普及・促進の必要性を感じた**

遠隔授業SIGのミッション

各自治体、学校が、遠隔（授業、働き方）に関して
相談できる部隊になる

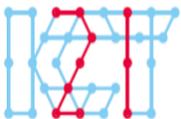


遠隔授業SIG 会員メンバー

名前（敬称略）	所属団体・企業	
天野 光善	企業	株式会社ブイキューブ
菊地 類	企業	株式会社ブイキューブ
袖山 賢治	教育委員会・学校関係者	長野市立篠ノ井西中学校（長野県情報教育研究会）
加納 寛子	教育委員会・学校関係者	山形大学 学術研究院
川上 尚司	教育委員会・学校関係者	武蔵村山市立第八小学校
高瀬 浩之	教育委員会・学校関係者	松戸市立第二中学校
久保田 史子	企業	パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社
浅見 紘太郎	企業	ヤマハ株式会社
杉原 光明	企業	日本電気株式会社
細川 知巳	企業	ヤマハ株式会社
長谷川 隆雄	企業	パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社
山口 直子	企業	ヤマハ株式会社
坂爪 清訓	企業	株式会社NS・コンピュータサービス

企業 5社10名
 教育関連 4名

※入会順



遠隔教育SIGでの議論ベース

		教育関係者（運用者）	
		知っている	知らない
企業	知っている	<ul style="list-style-type: none">・国全体に認知されているか？  <p>遠隔学習導入 ガイドブック 第2版</p>	<ul style="list-style-type: none">・各企業が提案 (こんな使い方がある。。)
	知らない	<ul style="list-style-type: none">・こんな使い方がある（目から鱗）・課題の場合、各企業にて解決策を検討する	<ul style="list-style-type: none">・ブレストによる気づきを出す

遠隔授業SIG活動実績

第1回 12月26日 キックオフ（自己紹介）

第2回 1月25日 シーンの議論

第3回 2月26日 文科省から4名ご参加いただき、議論。

第4回 4月3日 喬木村と接続し、勉強会。議論を絞る。

第5回 5月8日 要件抽出

遠隔授業SIGの活動（アウトプット）

- ① 「すぐにできる」遠隔教育授業システムパッケージ

- ② 各自治体が相談できる仕組みづくり
→ ICT Connect21で予定しているWEBに！

①提案できるシステムパッケージは。。。。

		課題=シーン									
		人口減少社会（へき地）			専門教育・社会教育			院内教育	不登校教育		
		遠隔合同授業	校長会 PTAなど	遠隔ICT支援	専門家講座 プログラミン	英語	地域・まちの しごと		自宅	サテライト (どこ?)	
システム 環境 大別	教室と教室	○									
	教室内グループ同士	○									
	One-教室	One (教師)				○	○	○			
		One (児童生徒)							○	○	○
		One (支援員)			○						
	One-One	2拠点			○				○	○	○
複数拠点			○						?	?	

「**教室**という、部屋の設計・運用」

「**双方向・同期型**」に絞る

- ・ 教室to教室
- ・ 教室toOne

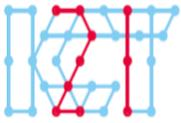
シーンごとの
要件明確化

要件を満たす
システム・技術

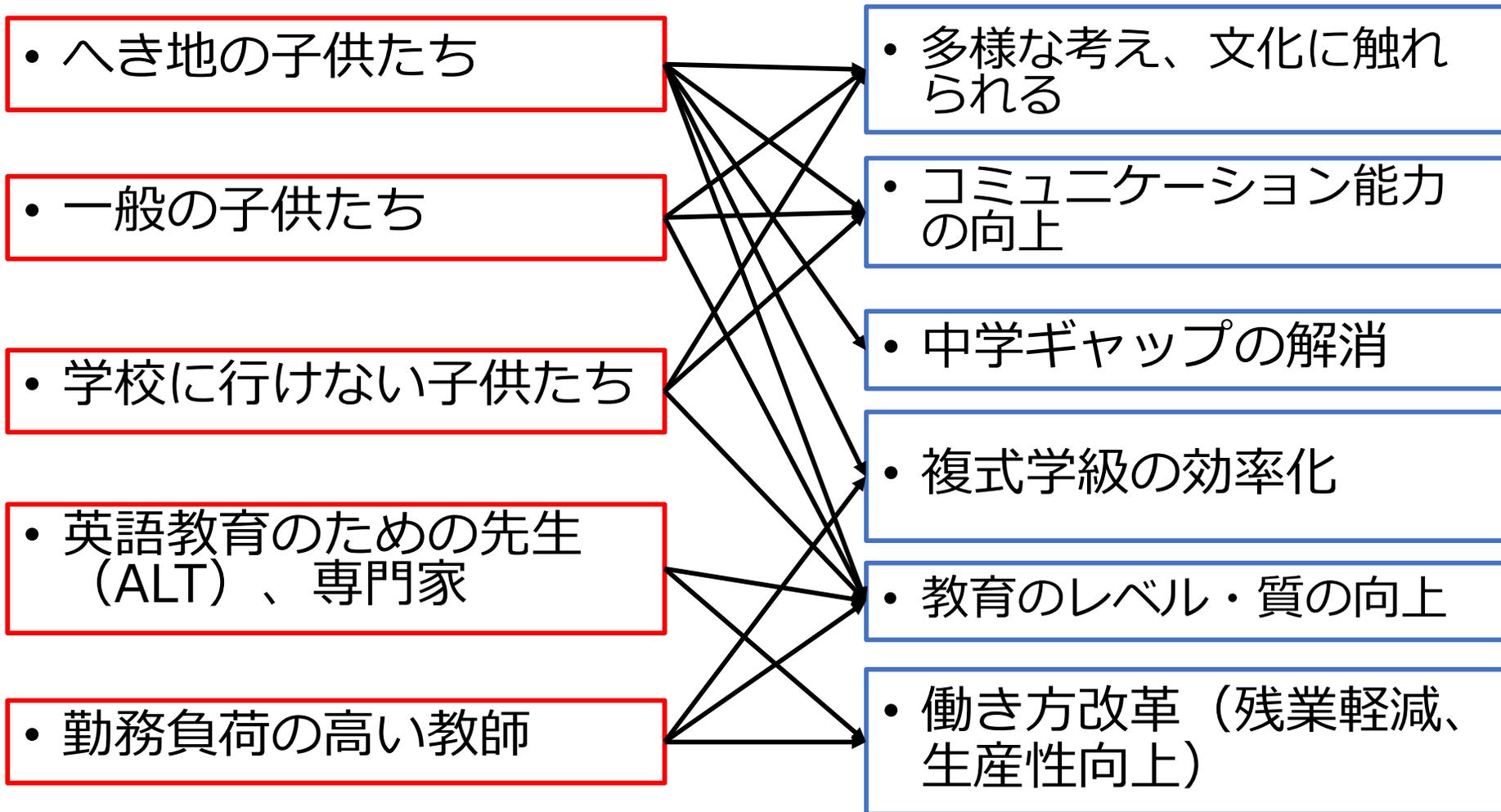
各企業の知見に期待
するところ

双方向・同期型 遠隔教育とは

	同期型	非同期型
双方向	Web会議・ビデオ会議 システムによる 遠隔合同授業 専門家の遠隔教育 不登校・院内教育	
一方向	Live配信講座	MOOCs (ムーク) e-learning オンデマンド型 ビデオ講座



双方向・同期型 遠隔教育は、 だれに、どんな価値を提供するのか？



要件抽出：遠隔教育対象者の特性について

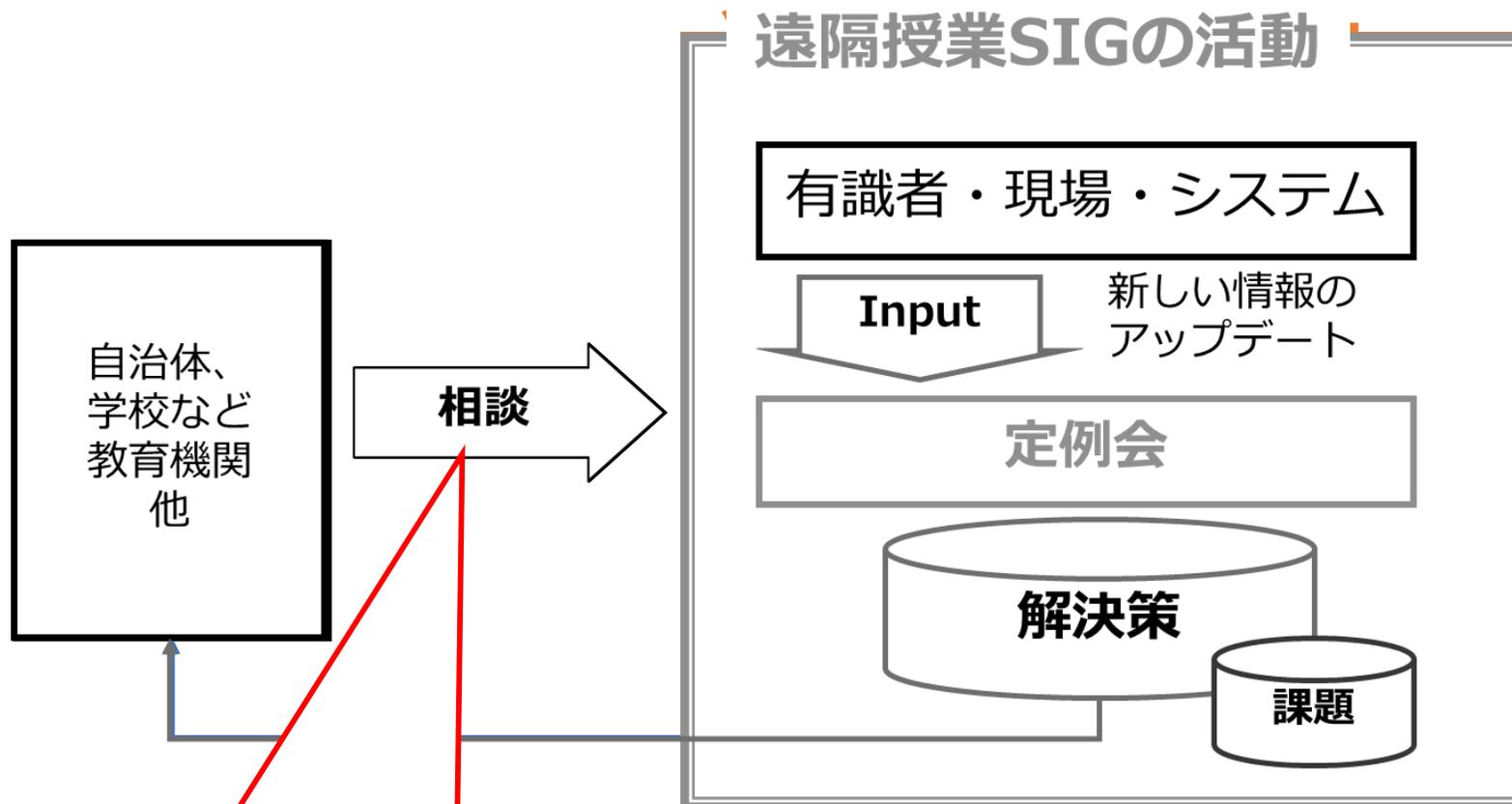
対象者の特性 × 授業シーン = 要件

例① 小学生 → 言語能力が低い
→ 大き目の字、図形が見える必要がある

例② 高校生 → 言語能力が高い
→ PowerPoint資料を見ながらの説明を聞く
(データ共有と音)

例③ 不登校児童・生徒 → 匿名を望む → チャット機能

② 各自治体、学校が相談できる仕組みづくり



★この部分の仕組み

夏（7月、8月）にWEB窓口オープン予定

年間計画

		2018年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
国の動き		予算案		予算成立	担当者入替			企画案概算要求	予算編成作業 (財務省による査定)				
ICT Connect21							▼22日 総会	▼相談サイト開設					
SIG定例会		▼	▼	▼	▼			▼					
システムパッケージ				システムパッケージ パターン検討						来期用のシステム相談			
仕組みづくり				相談サイト 内容詰め									

今後の検討項目

経験値と現場要望からの最適解を追究

- 各シーンにおける、要件をつめていく
- 要件に合わせたお勧めシステムの検討
- 空間設計（教室の機材配置）
- システム運用方法の検討
- 他、システム課題における解決方法などの検討

以上